

公益社団法人日本語教育学会 2019 年度事業計画
2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日

《重点項目》

2019 年度は本会の理念体系の使命・学会像・全体目標の下で策定された「2015－2019 年度事業計画」の最終年度にあたる。各事業の総点検をしつつ、次期中長期事業計画の策定を視野に入れ、以下の事業に重点的に取り組む。

1. 今期中長期事業計画の総括と次期中長期事業計画の策定への準備
今期中長期事業計画の実施状況の総括とその評価を実施する。あわせて 2020 年度からの次期中長期事業計画の策定の方針及びその方法を定め、計画策定への準備作業を進める。
2. 社会啓発事業
日本語教育の社会的認知度を高める活動を行うとともに、社会的課題の解決にかかわる情報を収集・分析し、専門的な観点からの政策提言や意見書の作成・発信を行う。
3. 人材育成事業
学会における人材育成事業にかかわる全体像の整理が完了したことを受け、2020 年度からの次期中長期事業計画において行う人材育成事業の方針、工程表、所掌委員会を定める。

1. 研究・研修事業

(1) 大会事業（所掌：大会委員会）

春季・秋季の各大会を次の通り行う。

- ア. 春季大会：2019 年 5 月 25 日（土）・ 5 月 26 日（日）、つくば国際会議場（茨城県つくば市）
参加者数：1,100 名を見込む。
- イ. 秋季大会：2019 年 11 月 23 日（土）・ 11 月 24 日（日）、くにびきメッセ（島根県松江市）
参加者数：500 名を見込む。

(2) 支部活動事業（所掌：支部活動委員会）

ア. 支部集會を次の通り行う。

- 第 1 回支部集會（北海道支部）：2019 年 7 月 13 日（土）、北海道大学（北海道札幌市）
参加者数 50 名を見込む。
- 第 2 回支部集會（中部支部）：2019 年 10 月予定、愛知県名古屋市内予定
参加者数 120 名を見込む。
- 第 3 回支部集會（北陸支部）：2019 年 8 月または 9 月予定、富山大学予定（富山県富山市）
参加者数 50 名を見込む。
- 第 4 回支部集會（四国支部）：2019 年 10 月または 11 月予定、香川大学予定
（香川県高松市）参加者数 100 名を見込む。
- 第 5 回支部集會（東北支部）：2019 年 12 月予定、東北大学か宮城教育大学予定（宮城県仙台市）参加者数 50 名を見込む。
- 第 6 回支部集會（関西支部）：2020 年 2 月または 3 月予定、会場未定
参加者数 120 名を見込む。

イ. 支部活動を次の通り行う。

- (1) 四国支部活動：2019 年 6 月予定、愛媛大学（愛媛県松山市）、春季大会報告会
参加者数 20 名を見込む。

- (2) 九州・沖縄支部活動：2019年7月20日（土）・21日（日）、沖縄県科学技術大学院大学（沖縄県国頭郡恩納村）、シンポジウム、ワークショップ、他。
参加者数50名を見込む。
- (3) 四国支部活動：2019年12月予定、愛媛大学（愛媛県松山市）、秋季大会報告会
参加者数20名を見込む。
- (4) 関東支部活動：2020年2月か3月予定、群馬県内予定、テーマ：外国にルーツを持つこどもたちへの日本語教育、内容詳細未定。
参加者数60名を見込む。
- ウ. 秋季大会で「交流ひろば」（11月23日）、「地域発信企画」（11月24日）を企画・実施する（中国支部所掌）。参加者数100名を見込む（大会参加者の一部を想定）。

(3) チャレンジ支援事業（所掌：チャレンジ支援委員会）

年齢や経験、業績にかかわらず、新規に日本語教育関連の研究や実践に取り組む人に対する支援・育成をめざした事業を行う。

ア. 春季・秋季大会で、大会参加支援として「わかば・コンシェルジュ」ブースの設置、オリエンテーション「わかばさんいらっしゃい」、先輩との対話の場「ぷらさ da わかば」を企画・実施する。

参加者数20名を見込む。

イ. 支部集会およびその他で発表応募支援「おせっかい侍の発表応募支援」「発表応募セミナー」を企画・実施する。

参加者数は催しにより5～20名を見込む。

ウ. 東京および大阪（予定）で、業界全体に向けた新情報を提供する「これから系セミナー（仮称）」を企画・実施する。

参加者数は未定。

エ. その他、次年度に向けて各種新規支援事業の企画・準備を行う。

(4) 表彰事業（所掌：表彰委員会・授賞候補選考委員会・学会誌委員会）

ア. 2018年度各賞の授与

2018年度日本語教育学会学会賞・奨励賞・功労賞・学会活動貢献賞および『日本語教育』論文賞を2019年5月25日に開催される春季大会において授与する。

イ. 2019年度各賞の選考

2019年度日本語教育学会学会賞・奨励賞・功労賞・学会活動貢献賞および『日本語教育』論文賞の選考を行う。

ウ. 受賞者の成果が還元されるよう、各委員会に働きかける。

2. 調査研究事業

(1) 刊行事業（所掌：学会誌委員会）

ア. 学会誌『日本語教育』（電子版・冊子版）の発行（所掌：学会誌委員会）

172号～176号の発行と準備を次の日程で行う。

172号：2019年4月発行（投稿締切：2018年9月3日）

173号：2019年8月発行（投稿締切：2019年1月10日）寄稿論文を掲載する。

174号：2019年12月発行（投稿締切：2019年5月7日）

175号：2020年4月発行（投稿締切：2019年9月2日）特集テーマを設定する。

176号：2020年8月発行（投稿締切：2020年1月10日）

イ. 2017年度発行の学会誌『日本語教育』掲載論文をJ-Stageで公開する。また、2018、2019年度発行の学会誌『日本語教育』掲載論文の公開準備を行う。

ウ. 2018年度『日本語教育』論文賞受賞論文の概要紹介（英語版）をウェブサイトで公開する。

- エ. 2019年5月26日に『日本語教育』査読者意見交換会を実施する。
参加者数は70名を見込む。

(2) 調査研究事業（所掌：調査研究推進委員会）

日本語教育学会全体の調査研究の方向性を検討し、日本語教育調査研究関連情報の収集、研究交流、研究者育成について調査研究を多角的に推進する。

- ア. 春季大会で一般公開プログラム「「+日本語」の人生をたずねて一境界を生き、境界をほぐす4人の物語」を企画・実施する。
参加者数は1,000名を見込む。
- イ. 春季大会で科研費申請のための支援セミナーを企画・実施する。
参加者数は30名を見込む。
- ウ. 秋季大会で倫理セミナーを企画・実施する。
参加者数は30名を見込む。
- エ. 研究課題に関し、ワールドカフェ等を企画・実施する。
参加者数は30名を見込む。
- オ. 学会誌特集や大会テーマの提案、情報提供を行うとともに、日本語教育学会の査読体制の見直し、審査・運営協力員の補充・強化を図る。
- カ. 2020年度春季大会一般公開プログラムを企画・準備する。
- キ. 受託事業

- (1) 2017年度より受託している文部科学省委託「外国人児童生徒等教育を担う教員の養成・研修モデルプログラム開発事業（3か年計画）」について、3年目を迎える2019年度も継続して調査・研究を行う計画である（審査結果に基づく）。
- (2) 2018年度より受託している文化庁委託事業「日本語教育人材養成・研修カリキュラム等開発事業（3か年計画）」事業区分（2）日本語教育人材の研修カリキュラム開発④日本語教師【中堅】に対する研修について、2年目を迎える2019年度も継続して調査・研究を行う計画である（審査結果に基づく）。
- (3) 2018年度に受託した公益財団法人日本漢字能力検定協会委託事業「BJT ビジネス日本語テストの評価指標に関わる調査研究およびテストモニター」について、2019年度も継続して、BJT受験者の能力に関する自己評価の調査を通して、BJTに対応するCan-do statementsに関する調査・研究を行う計画である。

(3) 社会啓発事業（所掌：社会啓発委員会）

- ア. 秋季大会の一般公開プログラムを企画・実施する。
参加者数は200名を見込む。
- イ. 日本語教育に関わる社会的動向に関する資料を収集する。
- ウ. 日本語教育に関する調査・研究のポータルサイト設置準備を進める。
- エ. 社会の動きと連動しながら、会員への情報発信とメディアへの働きかけを行う。また、必要に応じて、行政府・立法府への働きかけに協力する。
- オ. 学会の事業に関連した寄附金の企画及び広報案を作成する。

(4) 事典英訳

『新版日本語教育事典』の英訳のウェブ公開を進める。

3. 情報交流事業

(1) 広報事業（所掌：広報委員会）

- ア. ウェブサイトの管理・運営
不特定多数向けのサイトとして運営し、多様なユーザーに対しそれぞれのニーズにあったコンテンツを提供し、ユーザーの拡大をめざす。
- イ. 各常置委員会には広報担当委員を決めていただき、各委員会と連携し、学会ウェブサイト、学

会メールマガジン、ツイッター、フェイスブックを有効活用した広報活動を展開する。

4. 連携推進事業

(1) 国際連携事業（所掌：国際連携委員会）

- ア. 世界 12 か国・地域の学会で構成する「日本語教育グローバル・ネットワーク（GN）」事務局としての役割を引き続き担い、GN の活動を推進する。
- イ. GN ウェブサイトの管理・運営を行う。
- ウ. ウェブサイトコンテンツ「海外コラム」、「世界の日本語教育」の掲載を行う。
予定掲載数：「海外コラム」5 本、「世界の日本語教育」5 本
- エ. 「日本語教育グローバル人材奨励プログラム」を企画・実施する。
- オ. 2020 年 11 月 7 日（土）～ 8 日（日）に香港・マカオにて開催される「日本語教育国際研究大会 香港・マカオ 2020」の準備に協力・参加する。

(2) 学会連携事業（所掌：学会連携委員会）

- ア. 言語系学会連合
言語系学会連合（加盟 40 学会）の活動に幹事学会として参加し協力する。
- イ. Net-J
Net-J（当学会他 6 研究会が加盟）の活動に参加協力し、互いの情報交流や情報共有、連携を推進する。また、春季大会で各加盟団体による企画を実施する。
- ウ. 日本語教育関係機関・団体との協力
日本語教育関係機関・団体の事業に対し、要請に応じて後援等付与の協力を行う。

5. 会務運営

(1) 代議員総会・理事会

- ア. （2019 年度）第 7 回定時代議員総会を 2019 年 5 月 26 日に開催する。
- イ. 理事会を年 4 回程度開催する。
- ウ. 常任理事会を年 10 回程度開催する。

(2) 公益法人としての手続きおよび体制の整備

- ア. 公益法人として求められる所要の報告とともに、体制の整備（関係規程を含む）を進める。

(3) 横断的事業の検討

- ア. 調査研究合同会議を年に 2 回程度開催する。
- イ. 人材育成合同会議を年に 1 回程度開催する。

以上